



※1 映像技術者アウトソーシング企業で内定を確保  
 TV番組制作スタッフへの技術派遣。採用枠が多く、早期に内定が出るため、映像系希望者は全員エントリー。6名が内定を獲得し、その後5名は別の企業の内定先へ決定。

※2 Web制作者アウトソーシング企業の選考難易度を検証中  
 就職先開拓の課題であったWeb制作のアウトソーシング企業。3名が内定。

※3 東京都訓練生 30代：3名、20代：5名  
 年明け中途市場で勝負させる予定。既に就活を開始させ、1名がTV番組制作企業に内定獲得。  
 Web未経験+就業経験有 の応募者がどこまで通用するか？ 昨年度は3名全員就職。

【川辺】

映像制作企業（TV番組含む）、ユーザー企業Web担当の内定が増えたことで、当科の就職先の幅の広さを示す結果となった。

また、就職先開拓の課題であったWeb制作系アウトソーシング企業の内定が獲得でき、来年度以降の早期内定獲得への道筋をつくることができた。

■来年度募集状況

議長より学科の来年度の募集状況について、委員に報告した。

出願済入学予定者 (定員30名)

高校生	既卒	留学生	ここまで計
12名	3名	5名	20名

東京都訓練生募集
10名 枠を確保済み

【川辺】

定員30名充足の見込み

定員30名に対し、現時点で20名の入学見込者。昨年度ゼロだった留学生が5名が上積み要素。東京都専門人材育成訓練の10名枠が採択され、1月より募集開始。(例年4倍以上の応募があり10名は確保できる可能性大) 定員30名を充足できる見込みとなった。定員充足すれば、学科開講以来初となる。

大学と競合せず、既卒者比率が高い学科

大学の定員管理厳格化緩和の影響で、大学と競合する学科（建築、バイオ）が伸び悩む中、当科は大学と競合しない分野であり、既卒者比率も高く（高校生への依存度が低い）前年比増が見込まれている。社会人の学び直し（リカレント教育）ニーズを取り込むことで定員充足の安定化を図る募集活動をより一層強化してゆく。

## ■学科活動トピックス 2023/8～

議長より前回の編成委員会以降の学科活動のトピックスを報告した。

### ① 応用技術への取り組み - AR+3D アトラクションにトライ



ARTBAY TOKYO 2023 臨海エリア 2023年9月15日（金）～ 24日（日）開催

#### 【川辺】

ARTBAY TOKYO 2023 を参考に AR で 3D モデル、生成 AI で作成したアートを出現させるアトラクション開発にトライした。

WebAR での実装を試みたが、表示オブジェクトの揺れの問題を解消できず断念する結果となった。来年度も引き続き、このような新たな応用技術への取り組みを行なってゆきたい。

### ② ムーンロード秋まつり 2023 ライブ配信



#### 【川辺】

今年で3年目。秋まつりの様子を YouTubeLive で配信。音声の問題、WiFi の問題も回を重ねる毎に解消されてきた。

本日の欠席の杉山委員も来場しており、学生の様子を見ていただいた。

#### 【中山委員】

音声はどのように配信したのか？

#### 【川辺】

昨年はスピーカーに接続されている音声ミキサーから取得したが、音割れが激しく散々な結果となった。今回はマイクで拾ってみた結果、問題のない音声と観客の歓声も入り臨場感のある配信が行えた。このイベントは当日のリハーサル中に機材を設置しなければならず、事前の検証ができないのが難点。

#### 【中山】

屋外のイベントなどは、当日やってみないとわからないことが多い。音については特にそうで、どのような状況にも対応できる準備が必要。ミキサーからもらう音についても、機器によって、どんな大きさの音が入ってくるかわからない。だから、ミキサーからのラインを PC に直接つなぐのではなく、こちら側も音量をコントロールできるミキサーやアッテネーターを手前に接続し音割れを防ぐ調整ができるようにする準備をする。

【川辺】

以前、卒業式でなかの ZERO ホールでも同様の事象があり、その時はホールの PA の方に調整してもらい解決した。音声関係の機材をもう少し研究してゆく。

【中山委員】

WiFi はどのように。学校から有線は引けなかった？

【川辺】

WiFi はポケット WiFi を使用。これも安定しなく、毎回苦勞している。

有線は学校からひける距離だが、途中に買取地域があり、通せない事情があり断念。

【中山委員】

HDMI の無線化なども実現できるので、音声、ネットワークなども含め、実践を通して研究を続けてほしい。

### ③ X' mas プロジェクション・マッピング制作



【川辺】

Teracafé の WallTree に投影するプロジェクション・マッピングを制作し上映。毎年 2 年生が制作。今週から上映を開始しており、お帰りの際にぜひ見ていただきたい。

### ■ご意見伺い 社会人の学び直しニーズ、未経験者の中途採用の可能性について

【川辺】

Web 動画領域は当科の専門人材育成訓練だけではなく、東京都の離職者訓練でも社会人に人気のコースである。

社会人ニーズの学び直しニーズを取り込み、学生を増やす方向性を検討する必要がある一方、以下の懸念がある。

- 1) 専門学校で学ぶも業界・業種未経験者が中途採用市場で勝負できるのか
- 2) 年齢が 30 代後半の者の採用可能性はあるか
- 3) 業界・業種未経験者の処遇はどのレベルになるのか（新人と同じ？）

採用する企業側の視点から

- ・中途採用市場での未経験者が採用される可能性（難易度）
- ・採用される人物像について（どのような人であれば採用されるか）

ご意見をいただきたい。

【叶委員】

未経験で2年間勉強しているという人が、どのような人なのか、技術レベルだけではなく社会人の基本的なスキルレベルもわからない。というのが正直なところ。専門技術領域での就業に就きたいというモチベーションは明確なのか。

【川辺】

モチベーションは明確。そもそも当科の訓練生は高倍率の選考を勝ち抜いた人たちなので、パーソナリティー面では高い評価を得られると思う。

【叶委員】

パーソナリティーの面でいうと、中途でもSPIで判定されることが多いので、SPI対策はやった方が良い。

【川辺】

SPI対策は新卒組と同様に実施している。SPIとなると18歳の新卒組より点数が低いものがある。本人たちにも必要性の警告を発しておく。

【叶委員】

採用する側としては、どんな勉強をしているのかを知る機会が必要。

面接で本人の言動から読み取るだけでなく、専門人材育成訓練で身につけている技術はどのようなものを客観的に示すものが必要ではないか。

【川辺】

確かに、現在はそのようなものがなく、またその発想も無かったので、検討することとする。

【中山委員】

年齢についていえば、年齢によるセンスのズレというものが障害になる可能性がある。センスは磨かれるもので時間が必要。デザインや映像はとくに顕著に現れる。映像で言えばカットのつながりなどはセンスによるところが大きい。10代後半、20代前半からセンスを磨いてきた者と、30代後半になって磨き始めた者とは、大きく差ができてしまう。ここは学校での技術習得では埋められない領域。

【川辺】

現在の訓練生で技術は身につけているものの、デザインが幼稚で年齢年のセンスが磨かれていない者がいる。ここについては、デザイナーではなく、コーダーやアシスタントディレクター、Web担当者などの求人にかけていくしかないと考えている。

【叶委員】

Web担当者であれば、区のPR広報部門や行政サービスでの求人があるかもしれない。どこも人が足りていない様子。東京都の制度を使って訓練を修了したものであれば東京都関連の求人に直結できるルートを探ってみる価値はあると思う。

【川辺】

訓練生の就職先の開拓という点で調査を行うこととする。

以上

